

健康保険

傷病手当金・

(延長) 傷病手当金付加金 支給申請書

1

2

3

4

被保険者(申請者)記入用

被保険者(申請者)情報

被保険者等 記号・番号 (左づめ)	記号 	番号 	生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和	年 月 日
氏名	(フリガナ) -----				
住民票住所	(〒)		都 道 府 県		
電話番号 (日中の連絡先)	TEL ()				
☐ 本申請書の提出を事業主へ委任します。(委任する場合は ☒)					

※給与振込口座に入金します。(健保が特殊事由と認める場合のみ、別口座への入金を可能とする)
※任意継続者は、資格取得申請書に届け出た口座に入金します。

振込先指定口座

☐ 特殊事由により他の口座を指定します。(利用する場合は☒ (チェック)を入れ、下記の欄を記入。
注) 原則、振込先は給与振込口座とし、他行振込みは不可とする。

金融機関 名称	銀行 金庫 信組 農協 漁協 その他 ()		本店 支店 出張所 本所 支所
預金種別	普通	口座番号 (左づめ)	
口座名義 (カタカナ)	▼上記申請者と同じ名義の口座を記入してください。姓と名の間は1マス空けてご記入ください。濁点(・)、半濁点(°)は1字としてご記入ください。 		

「申請者記入用」は2ページに続きます。>>>

(R6.12)

受付日付印

社会保険労務士の
提出代行者名記載欄

申請内容	1 傷病名	1) 2) 3)	2 発病 または 負傷 年月日	令和 令和 令和	年 年 年	月 月 月	日 日 日
	3 該当の傷病は病気(疾病)ですか、ケガ(負傷)ですか。	☐ 1. 病気 (発病時の状況) ☐ 2. ケガ ➡ 負傷原因届を併せてご提出ください					
	4 療養のため休んだ期間(申請期間)	(令和) 年 月 日 から 日数 まで 日間					
	5 あなたの仕事の内容(具体的に) (退職後の申請の場合は退職前の仕事の内容)						

確認事項	1 上記の療養のため休んだ期間(申請期間)に報酬を受けましたか。 または今後受けられますか。	☐ 1. はい ☐ 2. いいえ
	1 - ① 「はい」と答えた場合、その報酬の額と、その報酬支払の基礎となった(なる)期間をご記入ください。	令和 年 月 日 から 報酬額 令和 年 月 日 まで 円
	2 「障害厚生年金」または「障害手当金」を受給していますか。 受給している場合、どちらを受給していますか。	☐ 1. はい ☐ 2. 請求中 ☐ 3. いいえ ➡ ☐ 1. 障害厚生年金 2. 障害手当金
	2 - ① 「はい」または「請求中」と答えた場合、受給の要因となった(なる)傷病名及び基礎年金番号をご記入ください。 [「請求中」と答えた場合は、傷病名・基礎年金番号をご記入ください。]	傷病名 基礎年金番号 年金コード 支給開始年月日 ☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日 年金額 円
	3 (健康保険の資格を喪失した方はご記入ください。)老齢または退職を事由とする公的年金を受給していますか。 受給している場合、その名称ご記入ください。	☐ 1. はい ☐ 2. 請求中 ☐ 3. いいえ ➡ 名称
3 - ① 「はい」または「請求中」と答えた場合、基礎年金番号等をご記入ください。 [「請求中」と答えた場合は、傷病名・基礎年金番号をご記入ください。]	基礎年金番号 年金コード 支給開始年月日 ☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日 年金額 円	
4 今回の申請は労災保険から休業補償給付を受けている期間のものですか	☐ 1. はい ☐ 2. 労災請求中 ☐ 3. いいえ	
4 - ① 「はい」または「労災請求中」と答えた場合、支給元(請求先)の労働基準監督署をご記入ください。	労働基準監督署	
5 介護保険サービスを受けたとき	保険者番号 被保険者番号 保険者名称	

※本申請内容に係る診療内容について、病院や医師に照会することに同意します。

令和 年 月 日

氏名(自書)

「事業主記入用」は3ページに続きます。》》》

3/4

療養担当者が意見を記入するところ

患者氏名			
傷病名	(1) (2) (3)	療養の給付 開始年月日 (初診日)	(1) 令和 年 月 日 (2) 令和 年 月 日 (3) 令和 年 月 日
発病または 負傷の年月日	令和 年 月 日	☐ 発病 ☐ 負傷	発病または 負傷の原因
労務不能と認 めた期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 日間		
うち入院期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 日間 入院	療養費用の別 ☐ 健保 ☐ 公費 () ☐ 自費 ☐ その他	転帰 ☐ 治癒 ☐ 中止 ☐ 繰越 ☐ 転医
診療実日数	診療日を 〇で囲んで ください。	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)			手術年月日 令和 年 月 日 退院年月日 令和 年 月 日
症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見			
人工透析を実施 または人工臓器 を装着したとき	人工透析の実施または 人工臓器を装着した日	☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日	人工臓器等 の種類 ☐ 人工肛門 ☐ 人工関節 ☐ 人工骨頭 ☐ 心臓ペースメーカー ☐ 人工透析 ☐ その他 ()
上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日			
医療機関の所在地 医療機関の名称 医師の氏名 印 電話 ()			

記入例

1	患者氏名	協会 太郎
2	傷病名	(1) 鎖骨骨折 (2) (3)
3	療養の給付 開始年月日 (初診日)	(1) 平成 26 年 4 月 22 日 (2) 平成 年 月 日 (3) 平成 年 月 日
4	発病または 負傷の年月日	平成 26 年 4 月 22 日 ☒ 発病 平成 26 年 5 月 12 日 ☒ 負傷
5	労務不能と 認めた期間	平成 26 年 4 月 22 日から 平成 26 年 5 月 12 日まで 21 日間
	うち入院期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで 日間 入院
	診療実日数	診療日を 〇で囲んで ください。
	上記の期間中における「主たる症状および経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等(詳しく)	鎖骨を骨折し、4/22初診。鎖骨バンドで鎖骨を固定。 固定するまで安静とし、固定後リハビリが必要。 症状経過からみて従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見 骨折した部位が固定するまで安静が必要で、固定後リハビリが必要であったため、 労務不能と判断した。
	人工透析を実施 または人工臓器 を装着したとき	人工透析の実施または 人工臓器を装着した日
	人工透析の実施または 人工臓器を装着した日	☐ 平成 ☐ 令和 年 月 日
	人工臓器等 の種類	☐ 人工肛門 ☐ 人工関節 ☐ 人工骨頭 ☐ 心臓ペースメーカー ☐ 人工透析 ☐ その他 ()
	上記のとおり相違ありません。	平成 26 年 5 月 22 日
	医療機関の所在地	東京都品川区△△ 1-1
	医療機関の名称	〇〇総合病院
	医師の氏名	保険 五郎

【被保険者の方へ】

1 療養担当者(医師等)の意見を受けてください。

【療養担当者の方へ】

2 複数の傷病名がある場合、(1)から主たる病名を順次ご記入ください。

3 左の傷病名について、その傷病の初診の日をご記入ください。

4 治療期間でなく、療養のため就労できなかったと認められる期間とその
日数をご記入ください。また、証明日以前の期間をご記入ください。5 症状および経過、労務不能と認められた医学的な所見を詳しくご記入
ください。